

第3回世界水フォーラム及び閣僚級国際会議について

1. 「世界水フォーラム」は、世界水会議(WWC)の提唱により3年に一度開催される世界最大規模の水に関する国際会議である。一般市民、NGO、学識経験者、企業、行政担当者などが集まって議論を行う「フォーラム」、各国政府の閣僚等が討議する「閣僚級国際会議」、展示会やイベントを開催する「水のえん」から構成される。

1997年にモロッコで開催された第1回、2000年にオランダで開催された第2回に引き続いで、第3回世界水フォーラムが2003年3月に、京都、滋賀、大阪で開催される予定。(別紙1、別紙2、別紙3)

2. これまでの準備、経緯

2000年 7月	「第3回世界水フォーラム準備事務局」設立
2000年11月	「第3回世界水フォーラム関係省庁会議」発足(別紙4)
2001年 1月	「第3回世界水フォーラム運営委員会」発足(別紙5)
2001年 3月	「第3回世界水フォーラムについて」閣議了解(別紙6)
2001年 5月	皇太子殿下が名誉総裁にご就任
2001年 6月	第3回世界水フォーラムキックオフミーティング開催
2001年 9月	閣僚級国際会議のファーストアナウンスメントを発出
2002年 8月	第3回世界水フォーラムの主要テーマ・概略プログラム決定
2002年 9月	閣僚級国際会議キックオフ会合開催 第3回世界水フォーラムコーディネーター会議開催 第3回世界水フォーラム参加登録受付開始
2002年11月	第1回非公式諮詢会合開催

3. 第3回世界水フォーラムは、「オープンな会議」「参加する会議から一人一人が創る会議」「議論から具体的な行動を実現する会議へ」を基本理念として開催される。世界的な議論を踏まえた主要テーマ(33テーマ、5地域)が選ばれており、「行動」と「約束」を共通のテーマとして掲げ、多様な利害関係者が同じテーブルで議論することで、水問題解決への新たな出発点となることが期待されている。

閣僚級国際会議では、自立と連携による水問題の解決について議論される予定。(別紙7)今後、世界水フォーラムの活動と十分な連携を図りつつ、非公式諮詢会合などを通じて準備作業を進めることとしている。(別紙8)

1977 マルデラプラタ 国連水会議
1992 ダブリン 水と環境に関する国際会議 } 淡水资源の確保に関する原則

1992 国連リオサミット アジェンダ21 (21世紀に向けての人類の行動計画)

☆ 1997 第1回世界水フォーラム (モロッコ、マラケシュ)

マルデラプラタ、ダブリン、リオで合意された事項の実行についての議論
(NGOベース)

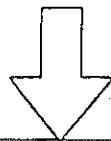
☆ 2000 第2回世界水フォーラム (オランダ、ハーグ)

- ・「水を全ての人の課題に」というテーマのもとで「世界水ビジョン」を策定
- ・閣僚級会議を開催し、水問題解決に向けた基本的課題を政府レベルで確認

2002 国連ヨハネスブルクサミット

アジェンダ21のレビューとさらなる推進

- ・政治宣言
- ・実施計画文書
- ・連携構想 (タイプⅡ)



☆ 2003 第3回世界水フォーラム (日本、京都・滋賀・大阪)

- ・「行動と約束」をテーマに多様な関係者が水問題解決のための行動について議論
- ・閣僚級会議を開催し WSSD をフォローアップするとともに、自立と連携による水問題の解決について議論

(別紙2)

第3回世界水フォーラムの構成

フォーラム

主催者:

- 世界水会議
- 第3回世界フォーラム
運営委員会

主会場:京都・滋賀・大阪

参加予定人数:8,000人

- 一般市民、NGO、学識
経験者、企業、行政担
当者など、多様な関係
者が水問題解決のた
めの「行動」について議
論を行う

閣僚級国際会議

主催者:日本政府

主会場:国立京都国際会館

参加予定閣僚:120人

- 各国政府の閣僚、国際
機関の長などが討議し、
宣言を採択する

フェア(水のえん)

主催者:地元実行委員会

主会場:京都・滋賀・大阪

来場予定人数:15万人

- 琵琶湖・淀川流域の
各地で行われる水に
関連する展示会やイ
ベント
- 大阪で開催される「水
のEXPO」がメイン

第3回世界水フォーラム 概略プログラム

(別紙3)

	(1) 3月16日(日)	(2) 3月17日(月)	(3) 3月18日(火)	(4) 3月19日(水)	(5) 3月20日(木)	(6) 3月21日(金)	(7) 3月22日(土)	(8) 3月23日(日)		
会場	京都 京都	京都 大阪	京都 大阪	京都 滋賀	京都 滋賀	京都 滋賀	京都 滋賀	京都 京都		
フォーラム										
テーマ	水と気候変動		水と都市 <大阪>		統合的流域及び水資源管理 <滋賀>					
	水供給、衛生及び水質汚染		水と情報 <大阪>							
	水と文化		地下水 <大阪>		水と平和(水を通じた紛争解決) <滋賀>					
	水とエネルギー	水と食料・環境		農業、食料と水		水施設への資金調達				
		水と自然、環境		水と貧困						
		水とガバナンス(賢明な水統治)		水と教育、能力開発						
		洪水								
	その他 (3/16 - 23)									
トピックス			官民の連携 <大阪>		ダムと持続可能な開発					
特別なプログラム	水行動報告書				水と国会議員	世界水アセスメント計画				
					「水と食と風」大臣会議 <滋賀>					
マジャードループ			水ジャーナリストパネル	CEO(最高経営責任者)パネル <大阪>	世界子ども水フォーラム <滋賀>					
			ジェンダー・パネル	ユニオン・パネル <大阪>		水援助パートナーパネル				
			ユース世界水フォーラム	科学技術パネル						
地域の日		アフリカの日	アジア・太平洋の日	アメリカ諸国の日	中近東・地中海の日	ヨーロッパの日				
式典 <京都>	開会式						閉会式			
	モロッコ国王ハッサン2世水大臣授与式	水ジャーナリスト大賞授与式			第3回世界水フォーラム 記念森林 <滋賀>	"水の声"メッセージ賞授与式				
参加者センター	参加者同士の交流 (ポスターセッション、展示、プレゼンテーション、ミーティングスペース、ステージパフォーマンス、インフォメーション) 場所: 国立京都国際会館 イベントホール									
プレスセンター										
レセプション	ウェルカムパーティ		大阪歓迎レセプション 伝統芸能「水の盤舞」<大阪>		滋賀歓迎レセプション	京都歓迎レセプション	歓迎コンサートとレセプションのタペ			
	古典芸能公演「忍水姫女」<京都> 3/15~17									
閣僚との対話										
閣僚級国際会議 <京都>				高官級会議	フォーラム参加者代表と閣僚の対話		閣僚級会議			
水のえん (水に関するフェア)	京都					京都フェア				
	滋賀									
	大阪									
	琵琶湖・淀川流域					流域連携フェア				
	淀川流域					水のEXPO				
	流域イベント					各地でイベント開催				

(別紙4)

世界水フォーラム関係省庁会議名簿

内閣官房内閣審議官

外務省総合外交政策局国際社会協力部長

文部科学省国際統括官

厚生労働省健康局長

農林水産省農村振興局長

林野庁森林整備部長

経済産業省地域経済産業審議官

国土交通省土地・水資源局水資源部長

国土交通省都市・地域整備局長

国土交通省河川局長

環境省環境管理局水環境部長

第3回世界水フォーラム運営委員会 委員名簿

会長

橋本 龍太郎 元内閣総理大臣

有識者委員（アイウエオ順）

秋山 喜久	関西経済連合会会長
今井 義典	日本放送協会国際放送局長
今村 奈良臣	食料・農業・農村政策審議会会长、東京大学名誉教授
植本 真砂子	全日本自治団体労働組合（自治労）副中央執行委員長
梅棹 忠夫	国立民族学博物館顧問
江崎 玲於奈	芝浦工業大学学長、ノーベル物理学賞受賞者
大内 照之	世界自然保護基金ジャパン(WWF·J)会長
川那部 浩哉	滋賀県立琵琶湖博物館館長
紺野 美沙子	国連開発計画(UNDP)親善大使、女優
曾野 紗綾子	日本財団会長、作家
高橋 裕	世界水会議(WWC)理事、東京大学名誉教授
丹保 憲仁	放送大学長、日本学術會議会員
坪井 栄孝	日本医師会会长、世界医師会元会長
中川 博次	国土審議会委員、京都大学名誉教授
西尾 武喜	名古屋都市センター理事長、日本水道協会名誉会員
森嶽 昭夫	地球環境戦略研究機関理事長、名古屋大学名誉教授
山田 啓二	京都府知事
和田 正江	主婦連合会会长

行政側窓口委員

外務省総合外交政策局国際社会協力部長	(石川 薫)
国土交通省土地・水資源局水資源部長	(小林 正典)
環境省環境管理局水環境部長	(石原 一郎)

(別紙 6)

第3回世界水フォーラムの開催について

平成13年3月6日

閣議了解

世界水会議及び第3回世界水フォーラム運営委員会が、平成15年3月16日から23日にかけて京都市を中心として滋賀県、京都府及び大阪府の琵琶湖・淀川流域において開催する第3回世界水フォーラムに対し、関係行政機関は必要な協力を行うものとする。

また、政府は、同フォーラムの一環として、閣僚級国際会議を開催することとし、その開催に関し、関係行政機関は必要な協力を行うものとする。

閣僚級国際会議において議論されるテーマ

持続可能な開発のための 自立と連携による水問題の解決

水に関するガバナンスと 自助努力の強化

- 可能な行動 -

- 問題の特定
- 意識の高揚
- 能力の開発
- 資金の有効活用
- 戰略の確立

自助努力を支援する 水パートナーシップの醸成

- 可能な行動 -

- 利害関係者の参加
- 水以外の分野からの取り組み
- 開発援助
- 技術移転
- 国際ネットワーク

- 期待される討議内容 -

- 安全な飲料水と衛生
- 食料と農村開発のための水
- 水質汚濁防止と生態系の保全
- 災害軽減と危機管理
- 水資源管理と便益の共有

世界水フォーラムと閣僚級国際会議の連携

